

学校自己評価結果公表シート

1. 教育目標

- (1)健康・安全で幸せな生活の為の基本的な生活習慣、態度を育て、健全な心身の基礎を培うようにすること。
- (2)人への愛情や信頼感を育て自立と共同の態度及び道徳性の芽生えを培うようにすること。
- (3)自然などの身近な事象への興味や関心を育てそれらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培うようにすること。
- (4)日常生活の中で言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり聞いたりする態度や言葉に対する感覚を養うようにすること。
- (5)多様な体験を通じて豊かな感性を育て創造性を豊かにすること。
- (6)家庭との連携を図っていくこと。
- (7)年長児は小学校教育との関連を図ること。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことに必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の各学年の具体的な目標や計画

- ・職員は自分の担当だけではなく園全体を見る目を持ち、美化に努める。
- ・元気な挨拶、笑顔、適切な言葉遣いで保護者や園児と接する。
- ・前年度、いのしし被害で収穫できなかったじゃがいも、さつまいもの収穫ができるよう取り組む。
- ・新規導入したフラッシュカードの活用

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
職員は自分の担当だけではなく園全体を見る目を持ち、美化に努める。	C	自分の担当箇所を行うだけで全体的に率先して美化に努める姿が少し足りなっかように感じる。言われてから行う姿が目立った。
元気な挨拶、笑顔、適切な言葉遣いで保護者や園児と接する。	C	保護者より、発表会の時等、緊張の為か、笑顔が少ないかな…との話があり。普段の笑顔が発表会の時や運動会でもみられるといいかな

		と、話があった。せっかく園児と楽しく発表する場なので笑顔で楽しくできるようにしていく。
じゃがいも、さつまいもの収穫	D	前年度の反省をいかせず、土質の改善や管理が行き届かず、ほぼ、収穫できず子ども達に満足に行く結果を残してあげることができませんでした。平成30年度は何とかばんかいできるように用務員と話をしながら進めていこうと思います。
新規導入したフラッシュカードの活用	A	朝の会、帰りの会等で各学年ごとのテーマに添ったフラッシュカードを行った。子ども達は集中してカードを覚えていた。又、公開保育で保護者の方に日頃の成果を披露した。
地域にねぎした園作り	B	三世代交流広場や集会等で地域の方にきてもらい、園児との交流の場を提供したり、指導をもらったりしながら進めています。

◎「3, 4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

C	一人ひとりが職務を全うしようとしていくよう意識改革が必要。子ども達が園にきて楽しかった、できてよかった。と言ってくれる園作りをしていきたい。
---	--

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み状況
環境美化に積極的に取り組む。	園内、外に関わらず常に、整理、整頓、美化に努める。
食育の一環としての作物作り	2年連続、改善が見られないので今年こそは、土壌改革をしつつ、農業をしている職員がいるので、対策を考えながら、経過をきちんと把握し作物の成長を見守っていききたい。
元気な挨拶、笑顔、適切な言葉遣いで保護者や園児と接する。	職員としての心構えを会議等の機会に伝えたり、見かけた際には見過ごさず職員に声をかけながら早急に改善をめざす。
地域にねぎした園作り	引き続き、地域の方々との交流を大切にしながら園児を職員や保護者のみならず、地域の方々で見守りながら子ども達の成長を促していききたい。